

資料提供

平成 27 年 1 月 13 日  
課名 農業産地推進課  
担当 向井, 岡田  
電話 082-513-3591  
内線 3591

## 広島県庁産レモン果実の障害者就労支援事業所による収穫について

### 1 主旨

生産量が日本一の本県産レモンを多くの県民に親しんでもらうため、県内 6 農業協同組合から寄贈を受けて議会棟南側緑地帯に植栽したレモンの果実を、障害者就労支援事業所の利用者が収穫するとともに、当該事業所へ寄贈する。

### 2 日時及び場所

(1) 日時：平成 27 年 1 月 14 日（水）13：45～14：15

（雨天の場合は県庁本館 4 階 農林水産局長室にて贈呈式を実施）

(2) 場所：議会棟南側緑地帯

### 3 寄贈先事業所

「社会福祉法人ひとは福祉会 ひとは工房」（別紙参照）

代表者：寺尾 文尚

所在地：安芸高田市向原町長田 1579-4

備考：ひろしま S-1 サミット 2014 において  
スイーツ部門最優秀賞受賞



### 4 出席者及びスケジュール

(1) 出席者

社会福祉法人ひとは福祉会 ひとは工房利用者 6 名

広島県 寶来伸夫 農林水産局長

(2) スケジュール

13：45～ 農林水産局長よりあいさつ、レモン果実贈呈  
ひとは工房よりお礼の言葉

写真撮影

13：55～ 収穫方法の説明

事業所利用者によるレモン果実収穫体験

### 5 その他

昨年度も「ひろしま S-1 サミット」スイーツ部門の最優秀賞受賞団体である「NPO 法人つくし工房可部 つくし工房（広島市安佐北区可部）」へ寄贈（約 150 個）

つくし工房は、レモンケーキ、マドレーヌ等の原料に利用

## 広島県におけるレモン生産振興に向けた取組

### 1 取組のポイント

レモンの周年安定供給による業務需要の拡大を図るとともに、担い手の経営規模拡大や生産基盤の整備，新規就農者の育成により，生産量の拡大を図っている。

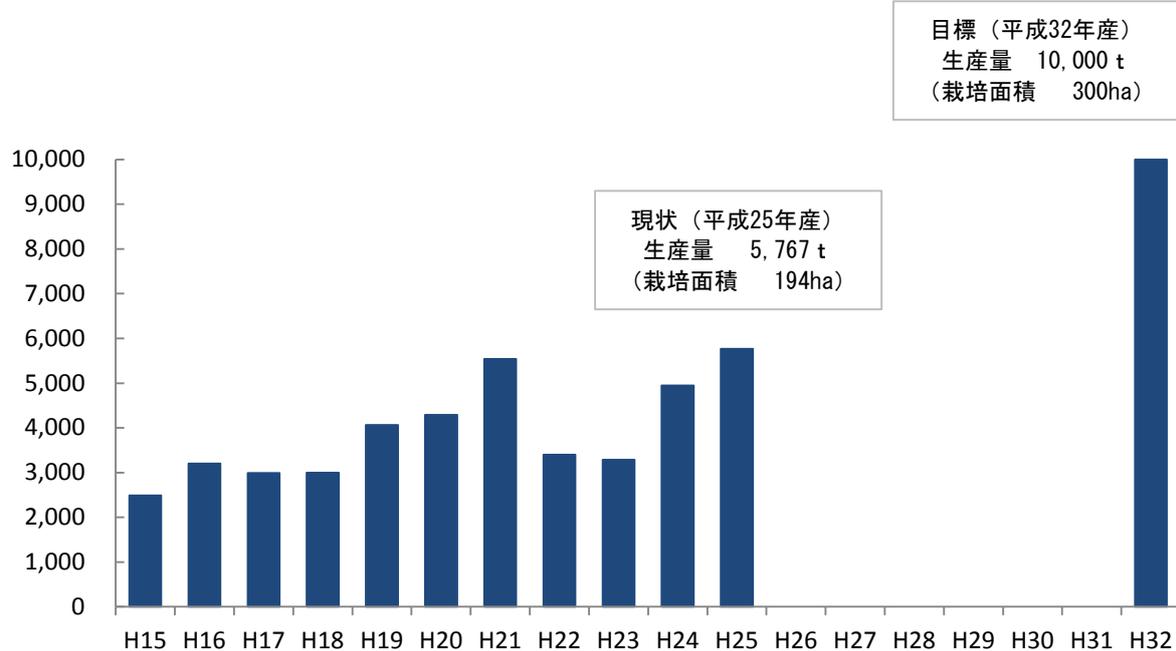
### 2 取組の具体例

- ・生産量が日本一であることを強みとし，大都市圏を中心に全国に向け販売を展開した。
- ・端境期である夏場においても出荷できるよう長期貯蔵技術を確立した。
- ・担い手に対して園地の面的な集積，基盤整備を支援し，レモンの栽培面積の拡大を図った。

### 3 これまでの成果

- ・レモンを長期間にわたって供給する実需者が確保された。
- ・園地 8.4ha を担い手に集積し，レモンの生産が拡大された。

広島レモンの生産量の推移（単位:t）



## 社会福祉法人ひとは福祉会について

法人名	事業所名	事業所種別・定員	活動内容
社会福祉法人 ひとは福祉会	ひとは工房	就労継続支援 B 型 15 名 生活介護 15 名	・アイス製造販売，喫茶店営業 ・果樹，米，野菜栽培 ・陶芸，押し花製品，看板制作 ※レモン製品なし

※共同ホームひとは・ひとは作業所，就労センターあつぷ等の事業所も運営

## 【県関連の実績等】

- ・「ひろしま S-1 サミット 2014」スイーツ部門最優秀賞受賞（縄文あいす【あま酒こうじ】）
- ・「ひろしま S-1 サミット 2012」スイーツ部門最優秀賞受賞（縄文あいす【キャラメル】）
- ・「ひろしま S-1 フェスティバル 2011」最優秀賞受賞（縄文あいす【縄文】）
- ・広島三越で製品（あられ）の常設販売（H25～）
- ・イオン広島府中店で製品（かりんとう）の常設販売（H26～）
- ・東急ハンズで製品（神楽の豆皿（押し花製品））の常設販売（H26～）



縄文あいす【あま酒こうじ】



縄文あいす【キャラメル】



縄文あいす【縄文】



H26. 11. 23 「ひろしま S-1 サミット 2014」に出展，スイーツ部門最優秀賞受賞

## ひろしまS-1サミット2014 とは

「ひろしまS-1サミット2014」は、障害のある人たちが利用する施設・作業所で製造しているスナック・スイーツの品評会のことです。

S-1の「S」は、施設・作業所、スイーツ・スナックの頭文字で、中国地方の14 事業所の製品のお菓子を試食していただきNo 1を決定するものです。

広島県をはじめ、全国には、障害のある人たちが経済的自立や社会参加に向けて働いている施設・作業所が多数あります。

そこでの仕事は部品組立や清掃などの下請け作業、木工や陶芸、布製品等の製造、食品製造など多岐にわたります。中でも食品製造は味・品質ともに企業の製品に引けを取らないものも多いのですが、そのことはあまり知られていないのが現状です。

このイベントは、施設・作業所で製造している「スイーツ・スナック」に焦点をあて、皆さまに製品を味わっていただきながら、障害のある人たちの状況や活動を知っていただく機会にしています。施設や作業所は互いにしのぎを削り、さらに皆さまにご意見やご評価をいただくことで製品開発や品質の向上につなげていくことができます。